

三井高校の「家庭クラブ」「陸上部」「レスリング部」が全国へ！

7.24
wed

家庭クラブ

家庭クラブが、兵庫県で開催される第67回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会への出場を報告しました。これまで家庭クラブは「家庭で作る非常食」「災害時の情報収集」など、防災をテーマに研究。発表者の園田知暖さんは「たくさん練習して、早口にならないように意識して頑張りたい」と抱負を語りました。

この度行われた大会で、最優秀校にのみ授与される文部科学大臣賞を受賞しました。



陸上部

陸上男子200メートルで稲葉侑大さんが、北九州地区予選で6位入賞を果たし、沖縄県で開催される全国高校総体へに臨みます。稲葉さんは「高校3年間、決勝に残るために頑張ってきた。絶対に自己ベストを更新する」と力強く意気込みを語りました。



レスリング部

男子個人戦71kg級で中村成吾さん、女子個人戦47kg級で平川舞歩さんが全国高校総体への出場を報告。2年連続の出場となる中村さんは「手足の長さを生かして、自分の距離で戦いたい。優勝をめざす」と話し、平川さんは「試合は緊張するので、相手のことだけを考えたい」と大会への思いを語りました。



みんなで結んだ 18万枚の短冊

7.31
wed

8.4
sun

七夕神社に奉納された短冊を使って「短冊ロード」を作ろうと、地域おこし協力隊の宮本さんが、短冊を結びつけるボランティアを呼びかけました。開催した5日間で、子どもから大人まで約130人の参加があり、八女市から駆け付けてくれた人や、「結ぶって楽しい」と目標を大きく超えた枚数を結んでくれた小学生など、多くの人の手によって、18万枚の短冊ロードが完成しました。宮本さんは「できるところまででいいと思っていたけれど、みんなのおかげで18万枚が達成できた」と笑顔を見せました。

短冊ロードは商工会青年部の協力のもと、ライトアップ。お披露目となった8月7日には、七夕神社の夏祭りも開催され、多くの人でにぎわいました。

※お披露目は終了しました



子ども議会を開催

7.25
thu

小郡市議会議場で開催された「小郡市子ども議会」に、市内の小・中学生13人が出席しました。子ども議会は、日々の暮らしと行政のかかわりを学習することで、市の課題や将来を考えてもらうことを目的に行っています。

子ども議員からさまざまな質問が上がり、「小郡市をどんな市にしたいか」といった質問には「未来を担う子どもたちが、生き生きと健やかに育つ小郡市にしたい」と市長が回答。また、「子どもが安全に生活するために行っている取組」について聞かれ、教育長が「安全マップの作成や、通学路の安全点検、保護者や地域による見守り活動を行っている」と回答するなど、市議会さながらの熱い議論が行われました。子ども議員の皆さんにいただいた意見や要望は、引き続き内容を検討していきます。